

別紙：研究概要

1. 医療科学研究所自主研究プロジェクト（知の構造化事業）

医療科学研究所の基幹事業の1つとして、民間の公益法人である特性を生かして、医療科学分野で、科研費など公的な研究ではカバーしにくいテーマについての研究事業を行っており、自主研究プロジェクトと称しています。

現在は「知の構造化事業」と名づけ、医療関連領域で重要な課題や概念であって、必ずしも情報・知識が集約整理されていないものについて、学際的にあるいは多様な立場の視点や意見を整理集約することで情報インフラを構築するという研究事業です。

2. 2024年－2025年度研究テーマ「ウェルビーイングと健康まちづくり」

【ファカルティフェロー】

内田由紀子 京都大学人と社会の未来研究院 教授・院長

【研究趣旨】

本研究は、多様な個人が多様な最適状態・well-being を実現するにはどうすれば良いかを領域の異なる研究者が共同して検証を試みるプロジェクトである。これまで、個人のウェルビーイングに着目し、実現に向けた研究や取り組みが多く行われてきた。しかし、個人を支える場という観点が欠落している。そこで、多様な個人の最適化は「場」によって支えられるという立場から、「場」の状態をも含めてウェルビーイングの研究に取り組む。そこで、まちやコミュニティの観点を含めてウェルビーイングについてレビューを行い、個人のウェルビーイングと場のウェルビーイングについて実装に向けたエビデンスの生成を行う。